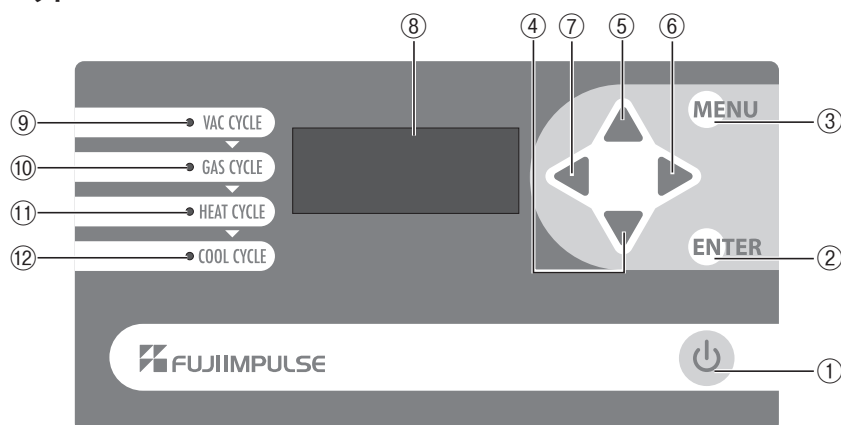
6 各部の名称とはたらき

機械左側面部

コントロールユニット

① 電源ボタン
電源を入 / 切にする時に押します。（漏電ブレーカーが「入」状態の時）

② ENTER ボタン
各項目、設定を確定する時に押します。
シール動作、脱気動作、ガス充填動作を途中で中断する時に押します。　※ 1

③ MENU ボタン
メニューモード画面を呼び出す時に押します。

④⑤⑥⑦選択ボタン
各設定画面で項目への移動や数値増減などの時に押します。数値設定の場合▲、▼ボタンを押し続けると、数値が高速で増減します。

⑧ディスプレイ画面
各項目･設定内容がこの画面に表示され、この画面上の指示に沿って設定作業を進めます。

⑨脱気中ランプ
脱気工程中、点灯します。

⑩ガス充填中ランプ
ガス充填工程中、点灯します。

⑪加熱中ランプ
加熱工程中、点灯します。

⑫冷却中ランプ
冷却工程中、点灯します。

※ 1

⚠ 警告　スポンジ位置にて作業を中断した場合、保持を解除するためレバーが下部位置まで下降します。
異物（指など）の挟み込みなどに充分注意してください。
（用語に関しては「8-3　用語解説」を参照してください。）

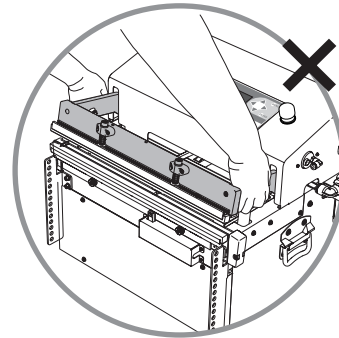
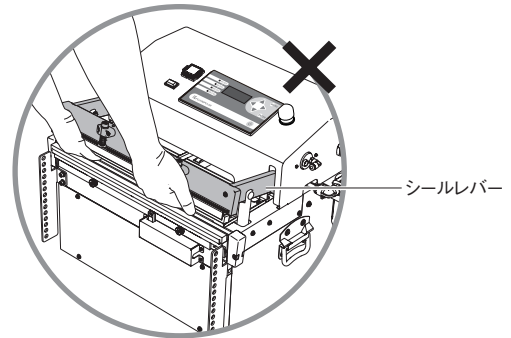
7　正しい使い方

7-1　作業場所の確保

安全に効率的に作業するため、適切な作業環境でご使用ください。

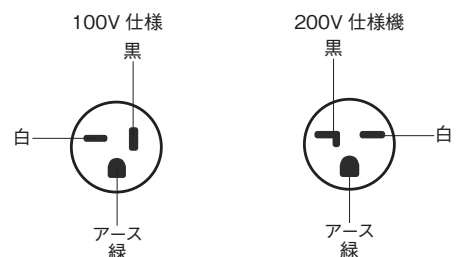
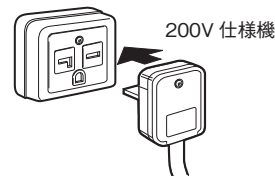
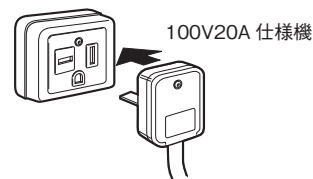
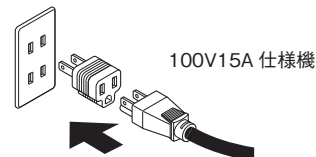
⚠ 警告　傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。
製品が設置場所から移動したり、落下したりして、製品の破損や人体の損傷につながります。必ず安定して設置できる水平な面を持つ場所に作業場所を確保してください。

⚠ 警告　設置面が濡れていたり、水滴・水蒸気のかかる場所では使用しないでください。製品の故障の原因となり、漏電・感電の恐れがあります。

⚠ 注意　シールレバーを持って移動しないでください。シールレバーを持って移動されると故障の原因となります。

7-2　電源の接続

電源は必ず「10　仕様」に記載している各製品の電圧・消費電力に適合した容量のコンセントから直接接続してください。
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
「電気配線工事は電力会社の認定工事店、または第3種接地工事の資格者により行ってください」

⚠ 警告　消費電力は製品によって異なります。コンセントの容量が製品の消費電力以上あることを確かめ、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線やタコ足配線をすると電圧降下し、製品が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントが発熱して火災の原因にもなります。適切な容量の電源工事を行ってください。

⚠ 警告　附属部品に組込まれている標準のプラグの取替え配線をする場合、接続に誤りのないことを確かめてください。配線の接続は右イラストのようになっています。またアース線が所定の端子に接続されていない場合、電源側で短絡（ショート）したり漏電します。

7-3　非常停止スイッチの作動確認

万一のトラブルに備えて非常停止スイッチを押して、漏電ブレーカーが「切」になるか、非常停止スイッチの作動確認をしてください。

1　漏電ブレーカーを ON にしてください。
2　非常停止スイッチを押してください。
3　漏電ブレーカーが OFF になった場合、非常停止スイッチは正常に機能しています。

漏電ブレーカー
ON 状態

非常停止スイッチを
押す

非常停止

漏電ブレーカー
OFF 状態になる
○

漏電ブレーカー
ON 状態のまま
×

テストボタン
（赤色）

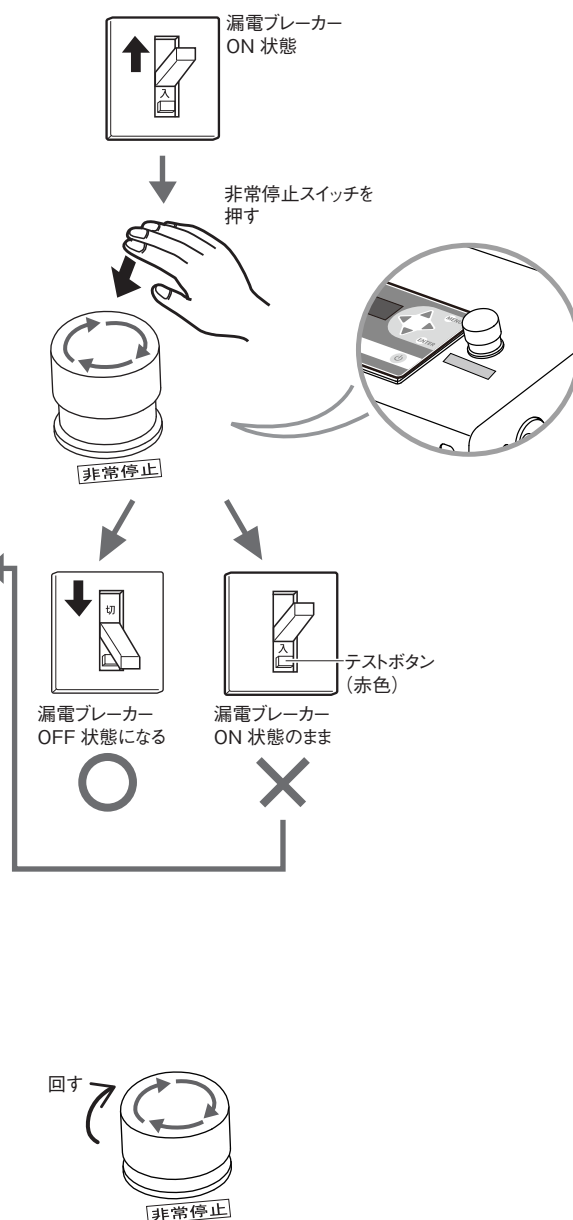
⚠ 警告　漏電ブレーカーが OFF にならない場合（ON のままの場合）は、以下の手順で確認していただき、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

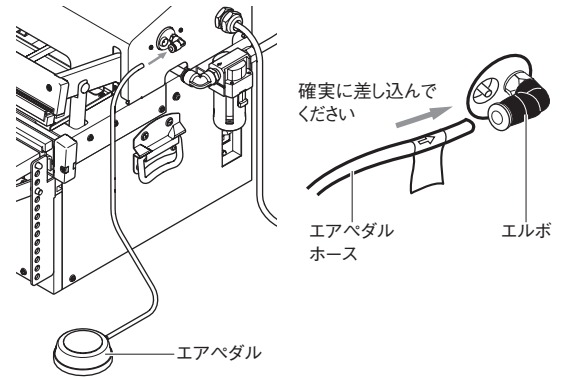
漏電ブレーカーに付いている赤色のテストボタン（右イラスト参照）を押してください。

・漏電ブレーカーが OFF になった場合
　＝非常停止スイッチの故障が考えられます。

・漏電ブレーカーが ON のままの場合
　＝漏電ブレーカーの故障が考えられます。

非常停止スイッチの作動確認が終わりましたら、非常停止スイッチを解除してください。右方向に回すと解除できます。

注！　非常停止スイッチは一度押すと、押したままの状態になりますので必ず解除してください。

7-4　エアペダルの取り付け

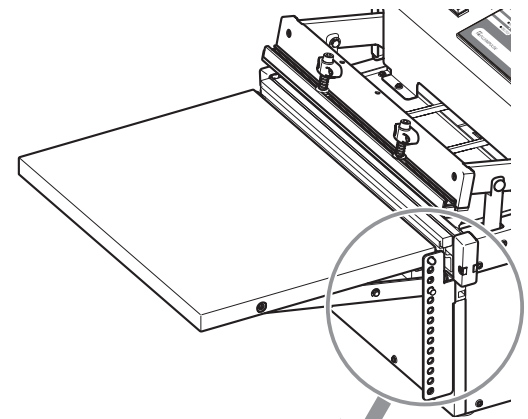
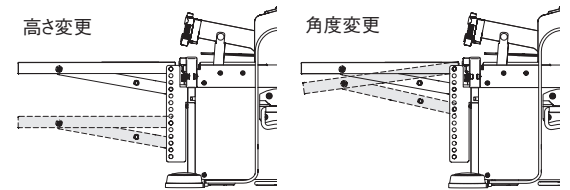
エアペダルホースを製品右側面部のエルボに確実に差し込んでください。

7-5　テーブルの取り付けと高さ・角度の調整

テーブルの高さと角度は、機械前面両端にある穴付アングルの穴への取り付け位置を変えることによって調整出来ます。

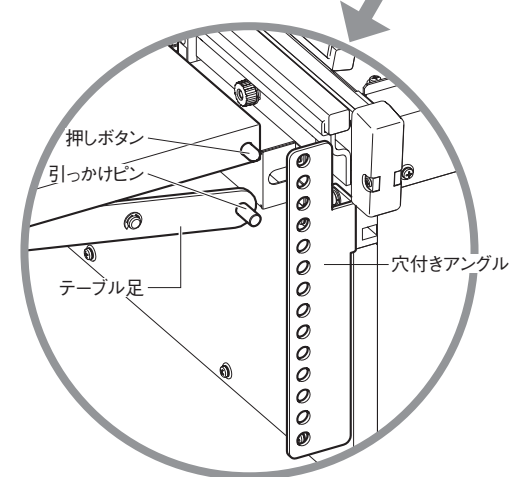
■ テーブルの取り付け方、取り外し方

1　テーブルを両手で持ちます。

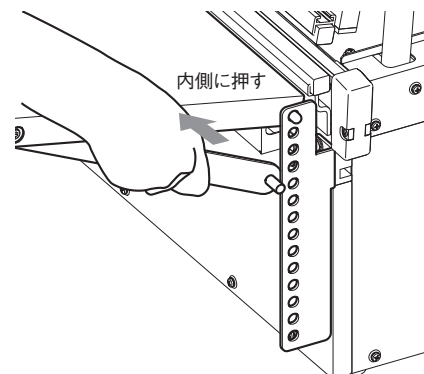
2　テーブル奥側の押しボタンを人差し指で押し込みながら穴付きアングルの間へはめ込みます。この時、高さを合わせたい位置の穴へ入るように目測しながらセットします。

3　テーブルの取り外しは、その逆で両手の人差し指で、穴付きアングルの外側から押しボタンを押し込みます。押しボタンを押したまま手前に引き寄せると、穴付きアングルからテーブルが外れます。

■ テーブル足の取り付け、取り外し方

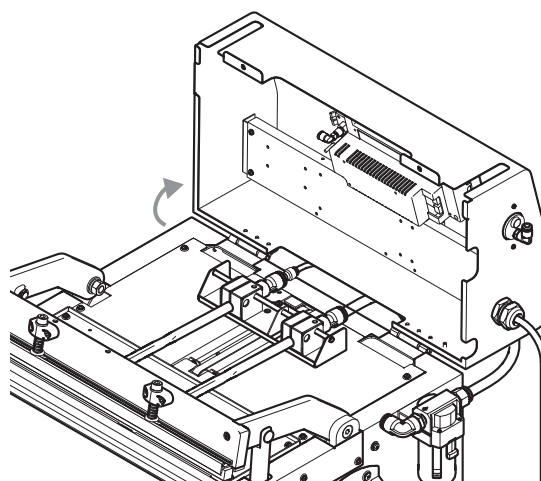
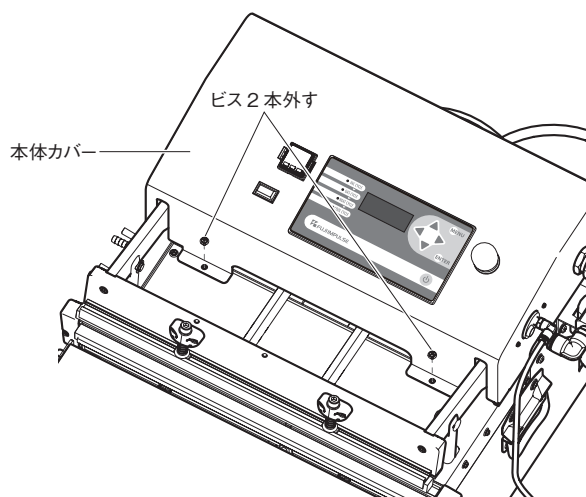
1　テーブルを合わせたい角度になる位置の穴付きアングルの穴を選んで、引っかけピンを差し込みます。この時、テーブル足を内側に押すと楽に穴にセットすることができます。

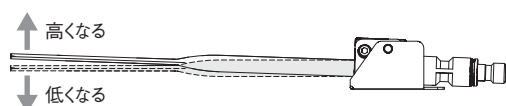
2　テーブル足の取り外しは、その逆でテーブル足を内側に押しながら、穴付きアングルから引っかけピンを外してください。

⚠ 警告　押しボタン、引っかけピンは必ず確実に穴付きアングルの穴へ差し込んでください。確実にセットされていないと、少しの衝撃やテーブルの持ち上げによってテーブルが外れたり傾いたり、落下してケガをする恐れがあります。

注！　テーブル、テーブル足を取り付ける際は両サイドの高さがずれないように注意して取り付けてください。

MEMO　テーブル、テーブル足の取り付け、取り外しは左右どちらか片側ずつ行うと楽に作業が行えます。

7-6 ノズルの位置調整

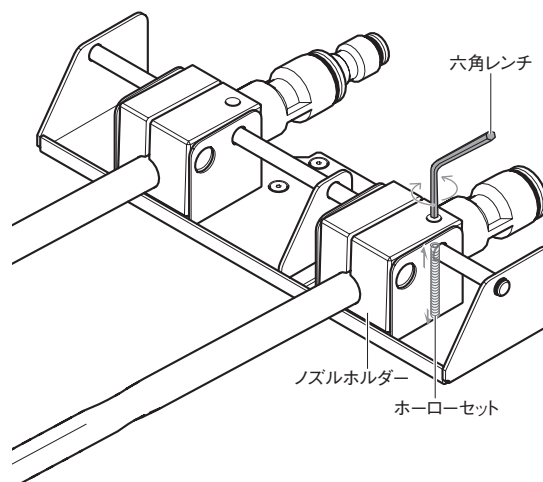
■ 準備

本体カバーを固定しているビス 2 本を外し、本体カバーを上に持ち上げてください。

■ ノズルの高さ調整

シール部に突出するノズルの高さはお客様の使いやすい高さに調整することが出来ます。

高くなる
低くなる

機械正面から見てノズルホルダーの右奥側のホーローセットを六角レンチで回すとノズルの高さが変わります。

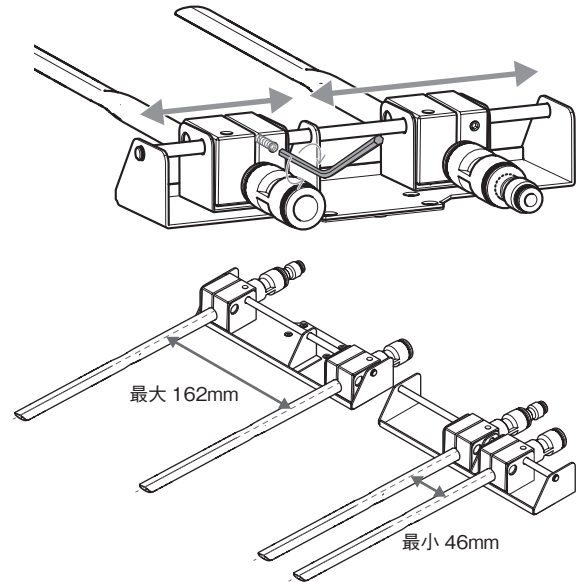
時計回りに回す（締める）＝低くなる
反時計回りに回す（緩める）＝高くなる

調整が終わりましたら、本体カバーを閉じ、ビスで固定してください。

■ 2 本のノズル間隔調整

袋の幅に応じて 2 本のノズル間隔を、作業しやすいように調整することが出来ます。

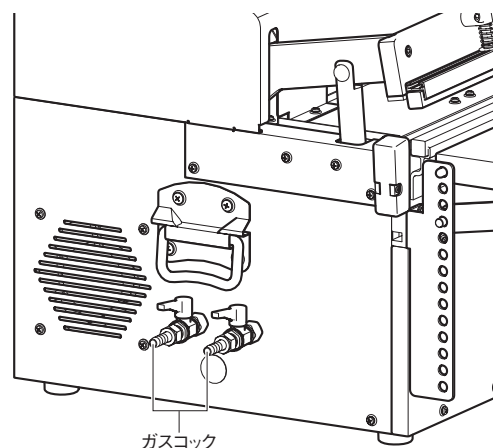
機械正面から見てノズルホルダー背面にあるホーローセットを緩めると、ノズルホルダーを動かすことが出来ます。

2 本のノズル間隔は、最大 162mm 、最小 46mm です。（ノズルの中心での間隔です。）

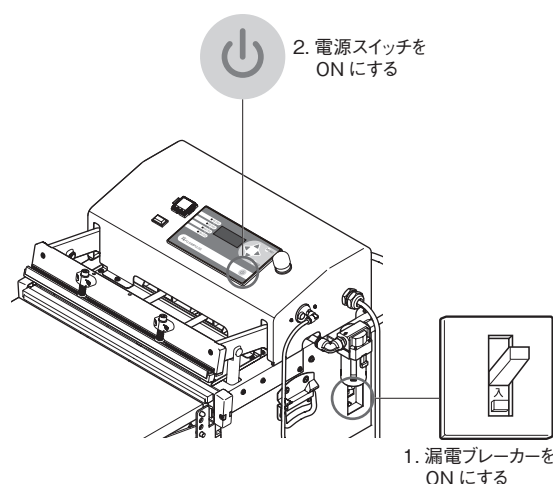
調整が終わりましたらホーローセットを締め、ノズル間隔を確認した上で本体カバーを閉じ、ビスで固定してください。

7-7　ガスボンベおよびガス調整器との接続

ガスボンベおよび調整器は製品に附属しておりませんので、必要に応じてご用意ください。

1　ボンベにガス調整器（減圧弁と流量計の付いたもの）を接続してください。

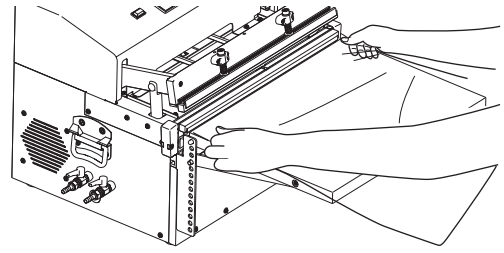
2　ガス流量器を製品のコックに、ビニールホースなどで接続してください。1 個だけ使用する場合、使用しない方のコックは、必ず閉じておいてください。2 個あるコックのどちらに接続していただいても結構です。
2 種類のガスを併用する場合は、それぞれのコックにガスホースを接続してください。
ガスを使用しない場合は、両方のガスコックを閉じておいてください。

7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする

1　漏電ブレーカーを ON にしてください。

2　コントロールユニットの電源スイッチを ON にしてください。

7-9　コントロールユニットの設定

「8 コントロールユニットの設定と操作方法」を参照して、コントロールユニットの設定をしてください。

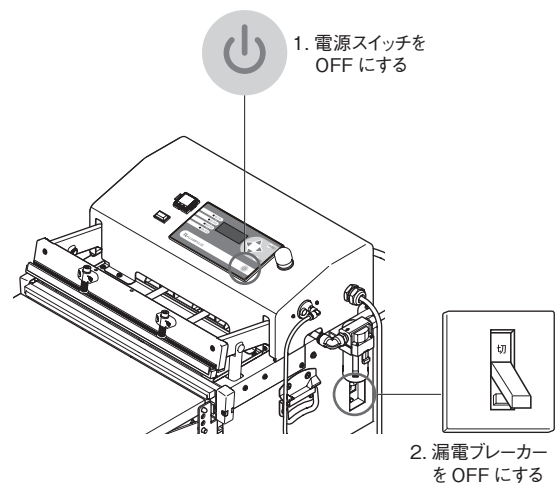
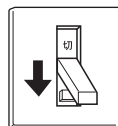
7-10　シールを行う

「8 コントロールユニットの設定と操作方法」を参照して、袋をセットし、エアペダルを踏んでシールを行ってください。

7-11　シールのできあがり

加熱・冷却終了後、レバーが上部位置に戻り、シール完了です。うまくシールができていない場合は、加熱・冷却時間を調整してください。
また必要に応じてシール部を清掃をしてください。

7-12　漏電ブレーカー、電源スイッチを OFF にする

1　コントロールユニットの電源スイッチをOFFにしてください。

2　漏電ブレーカーをOFFにしてください。

7-13　作業終了後の点検

作業が終了したら、清掃を行い、センタードライテープやヒーター等の部品が傷んでいないか点検を行ってください。（「11　定期的な点検と保守」を参照してください。）傷んでいるようであれば「9　消耗部品の交換方法」を参照して、交換をしてください。

8　コントロールユニットの設定と操作方法

この項目は以下の構成からなっています。

8-1　標準登録設定で使ってみましょう!

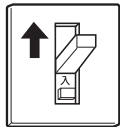
＝工場出荷時登録の設定で基本操作を解説

標準登録してある４つの作業方法（工場出荷時登録済み）の使い方の説明で基本操作を確認していただけます。

8-2　登録をしてみましょう!

＝登録例で登録方法を解説

２種類の登録例をあげて登録方法を説明しています。

1　漏電ブレーカーを ON にしてください。

２　電源スイッチを ON にしてください。

ディスプレイ画面に下画面が３秒間表示します。

```
 V-460G/610G Verx.xx
  ｶﾈﾂ ｵﾝﾄﾞ ｾｲｷﾞｮ

FUJIIMPULSE CO.,LTD.
```

8-3　用語解説

V-460G/610G シリーズのディスプレイ画面表示やこの取扱説明書に出てくる言葉・表現を解説していますので辞書的にお使いください。

マニュアル操作って何?　インパルスって何?　などを確認できます。

8-4　各操作・各設定リファレンス

＝各作業方法における操作・設定の解説

8-5　各作業手順

＝13 種類ある作業方法の組み合わせ別の作業の流れを手順で解説

コントローラーの設定を行ったあとは、作業手順を読んでいただくことで、使い方のおおよその流れを確認していただくことができます。

8-1　標準登録設定で使ってみましょう!=基本操作

ここで説明する 4 種類の設定は、工場出荷時に V-460G/610G シリーズに登録されています。

注 ！　工場出荷時に設定している 4 種類の標準登録設定は、お客様が加熱温度や脱気時間・ガス充填時間などを変更することによって設定を変更することができます。
標準登録設定を変更した後で再現したい場合は再度登録し直す必要があります。
「標準設定で使ってみましょう」の習得途中で各設定値を変更したい場合は、各項目を「8-4　各操作・設定リファレンス」に記載している方法で設定してください。

- ■ まず、基本操作をこの 4 種類の標準設定作業方法でご確認ください。
- ■ わからない用語は・・・・・「8-3　用語解説」を参照してください。
- ■ 他にどんな作業方法があるのか?は・・・・・「8-5　各作業手順」を参照してください。

8-1-1　シールだけを行う

=作業No.「01」　シールセンヨウ
　工場出荷時の設定項目：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃
=「8-5　各作業手順」の「8-5-1　シール専用」

8-1-2　目安で真空度を見て脱気シールを行う

=作業No.「02」　ダッキシールマニュアル
　工場出荷時の設定項目：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃
=「8-5　各作業手順」の「8-5-2　マニュアル（目安）脱気 + シール」

8-1-3　予めタイマーで設定されている脱気時間とガス充填時間でガス充填シールを行う

=作業No.「03」　1 カイガスタイマー
　工場出荷時の設定項目：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃、
　脱気タイマー 1.0 秒、ガスタイマー 2.0 秒
=「8-5　各作業手順」の「8-5-6　（1 回）タイマー脱気 + ガス充填 + シール」

8-1-4　予めタイマーで設定されている 2 回の脱気時間と 2 回のガス充填時間でガス充填シールを行う

=作業No.「04」　2 カイガスタイマー
　工場出荷時の設定項目：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃、
　1 回目脱気タイマー =1.0 秒、2 回目脱気タイマー =1.0 秒
　1 回目ガスタイマー =2.0 秒、2 回目ガスタイマー =2.0 秒
=「8-5　各作業手順」の「8-5-9　n 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール」

各作業No. . の変更は下イラスト=ディスプレイ画面の初期画面が表示されている状態で▲、▼を押すと（切り替え）変更できます。

```
[01]  シールセンヨウ
  ▼ ▲  サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶  セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER       xxxxx
```

8-1-1　シールだけを行う

選択作業No.は　No.「01」　シール専用

工場出荷時の設定値：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃

=「8-5　各作業手順」の「8-5-1　≪シール専用≫作業手順」

MEMO　以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態での解説です。

1 漏電ブレーカーを ON にする

2 電源スイッチを ON にする

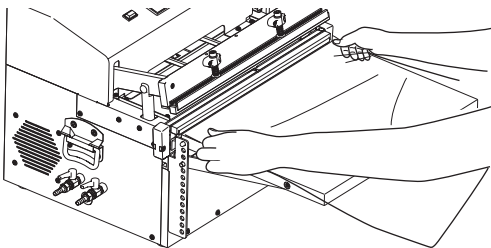
3 ディスプレイ画面が作業No.「01」に変わる

作業No.「01」のシール専用の画面が表示されます。

4 加熱温度・冷却温度などを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度の設定を変更する場合は、「8-4　各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

5 シール面に袋をセット

シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。

6 エアペダルを踏む

圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください。

注！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

エアペダルを踏む操作をすると次の工程が自動的に行われます。

- 圧着レバーがシール面に密着（シール開始）。
- 加熱中ランプが点灯。

HEAT CYCLE

- 加熱終了後（加熱中ランプ消灯）、冷却中ランプが点灯。

● HEAT CYCLE　　COOL CYCLE

- 冷却終了（冷却中ランプ消灯）

● COOL CYCLE

- シール完了（圧着レバーが上がります）

7 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われていることを確認してください。

長時間作業を行わない時は、

1　電源スイッチを OFF

2　漏電ブレーカーを OFF

3　電源プラグをコンセントから抜く

の順に行って機械を停止させてください。

8-1-2　目安で真空度を見て脱気シールを行う

選択作業No.は　No.「02」　脱気シールマニュアル

工場出荷時の設定値：加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃

= 「8-5　各作業手順」の「8-5-2　≪マニュアル（目安）脱気 + シール≫作業手順」

MEMO　以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態での説明です。

1 漏電ブレーカーを ON にする

2 電源スイッチを ON にする

3 ディスプレイ画面が作業No.「01」に変わる

作業No.「01」のシール専用の画面が表示されます。

```
[01] シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER      xxxxx
```

4 ディスプレイ画面の作業No.「02」を選ぶ

▲、▼ボタンを押すと登録された作業No.の画面に切り替わりますので、作業No.「02」を選んでください。

```
[02] タ゛ッキシールマニュアル
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER      xxxxx
```

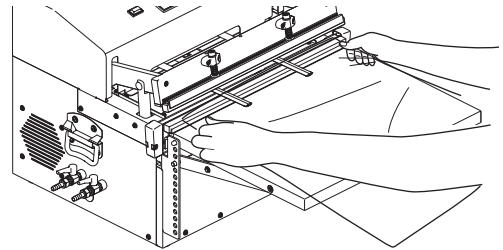
5 加熱温度・冷却温度などを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度の設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

6 エアペダルを踏む（1 回目）

ノズルが前に出てきます。

7 シール面に袋をセット

内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

8 エアペダルを踏む（2 回目）

圧着レバーが下降し、ノズルと袋をスポンジで挟み込み密封します。圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください。

注 ！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

9 エアペダルを踏む（3 回目）

脱気がスタートします。（脱気中ランプ点灯）

VAC CYCLE

10 適切な脱気状態になればエアペダルを踏む（4 回目）

4 回目のエアペダルを踏む操作をすると以下の工程が自動的に行われます。

- 脱気終了。（脱気中ランプ消灯）

VAC CYCLE

- ノズル後退

(「8-1-2　目安で真空度を見て脱気シールを行う」のつづき)

- 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。(加熱中ランプが点灯)

HEAT CYCLE

- 加熱終了後(加熱中ランプ消灯)、冷却中ランプが点灯。

● HEAT CYCLE　COOL CYCLE

- 冷却終了(冷却中ランプ消灯)

● COOL CYCLE

- シール完了(圧着レバーが上がり、ノズルが前進します)

11 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、

1　電源ボタンを OFF
2　漏電ブレーカーを OFF
3　電源プラグをコンセントから抜く

の順に行って機械を停止させてください。

8-1-3　予めタイマーで設定されている脱気時間とガス充填時間でガス充填シールを行う

選択作業№は　№「03」　1 回ガス、タイマー脱気

工場出荷時の設定値：脱気タイマー =1.0 秒　ガス（充填）タイマー =2.0 秒

加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃

= 「8-5　各作業手順」の「8-5-6　≪（1 回）タイマー脱気 + ガス充填 + シール≫」

MEMO　以下の設定は、製品開梱後何も設定変更を加えていない状態での説明です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面が作業№「01」に変わる

作業№「01」のシール専用の画面が表示されます。

```
[01]  シールセンヨウ
  ▼ ▲  サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶  セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER      xxxxx
```

4 ディスプレイ画面の作業№「03」を選ぶ

▲、▼ボタンを押すと登録された作業№の画面に切り替わりますので、作業№「03」を選んでください。

```
[03]  1カイカ゛ス タイマー
  ▼ ▲  サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶  セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER      xxxxx
```

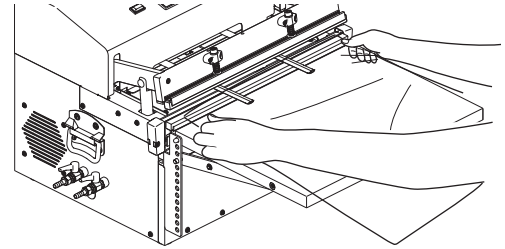
5 加熱時間・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーなどを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーの設定を変更する場合は、「8-4 各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

6 エアペダルを踏む（1 回目）

ノズルが前に出てきます。

7 シール面に袋をセット

内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

8 エアペダルを踏む（2 回目）

圧着レバーが下降し、ノズルと袋をスポンジで挟み込み密封します。圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください。

注 ！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

9 エアペダルを踏む（3 回目）

3 回目のエアペダルを踏む操作をすると以下の工程が自動的に行われます。

- 脱気がスタートします。（脱気中ランプ点灯）

  VAC CYCLE

- 脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると脱気終了。（脱気中ランプが消灯）

  VAC CYCLE

- ガス充填が開始。（ガス充填中ランプ点灯）

  GAS CYCLE

「8-1-3　タイマーで脱気時間とガス充填時間を設定してガス充填シールを行う」のつづき）

- ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過するとガス充填終了。（ガス充填中ランプ消灯）

GAS CYCLE

- ノズル後退
- 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。（加熱中ランプが点灯）

HEAT CYCLE

- 加熱終了後（加熱中ランプ消灯）、冷却中ランプが点灯。

HEAT CYCLE　COOL CYCLE

- 冷却終了（冷却中ランプ消灯）

COOL CYCLE

- シール完了（圧着レバーが上がり、ノズルが前進します）

10 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、

1　電源ボタンを OFF
2　漏電ブレーカーを OFF
3　電源プラグをコンセントから抜く

の順に行って機械を停止させてください。

8-1-4　予めタイマーで設定されている２回の脱気時間と２回のガス充填時間でガス充填シールを行う

選択作業No.は　No.「04」　２回ガス、タイマー脱気

工場出荷時の設定値：1 回目脱気タイマー =1.0 秒　2 回目脱気タイマー =1.0 秒

1 回目ガス（充填）タイマー =2.0 秒　2 回目ガス（充填）タイマー =2.0 秒

加熱温度 =140℃、冷却温度 =100℃

=「8-5　各作業手順」の「8-5-9　n 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール」

MEMO　以下の設定は、製品開梱後、何も設定変更を加えていない状態での説明です。

1 漏電ブレーカーを ON 状態にする

2 電源スイッチを ON 状態にする

3 ディスプレイ画面が作業No.「01」に変わる

作業No.「01」のシール専用の画面が表示されます。

```
[01] シールセンヨウ
 ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
 COUNTER     xxxxx
```

4 ディスプレイ画面の作業No.「04」を選ぶ

▲、▼ボタンを押すと登録された作業No.の画面に切り替わりますので、作業No.「04」を選んでください。

```
[04]02カイガ゛ス タイマー
 ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
 COUNTER     xxxxx
```

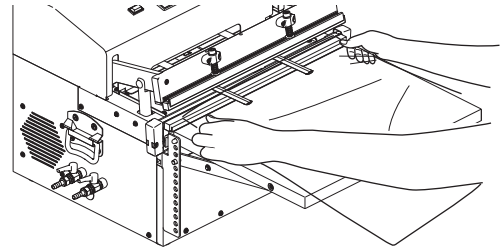
5 加熱温度・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーなどを確認

工場出荷時の加熱温度・冷却温度・脱気タイマー・ガス充填タイマーの設定を変更する場合は、「8-4　各操作・各設定リファレンス」を参照してください。

6 エアペダルを踏む（1 回目）

ノズルが前に出てきます。

7 シール面に袋をセット

内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

8 エアペダルを踏む（2 回目）

圧着レバーが下降し、ノズルと袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏んだ状態を保ってください）

注！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

9 エアペダルを踏む（3 回目）

3 回目のエアペダルを踏む操作をすると以下の工程が自動的に行われます。

- 脱気開始。（脱気中ランプが点灯）

  VAC CYCLE

- 脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると 1 回目の脱気終了。（脱気中ランプ消灯）

  VAC CYCLE

- ガス充填が開始。（ガス充填中ランプが点灯）

  GAS CYCLE

（「8-1-4　タイマーで 2 回の脱気時間と 2 回のガス充填時間を設定してガス充填シールを行う」のつづき）

- ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過すると 1 回目のガス充填終了。（ガス充填中ランプ消灯）

GAS CYCLE

- 2 回目の脱気開始。（脱気中ランプが点灯）

VAC CYCLE

- 脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると 2 回目の脱気終了。（脱気中ランプ消灯）

VAC CYCLE

- ガス充填が開始。（ガス充填中ランプが点灯）

GAS CYCLE

- ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過すると 2 回目のガス充填終了。（ガス充填中ランプ消灯）

GAS CYCLE

- ノズル後退
- 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。（加熱中ランプが点灯）

HEAT CYCLE

- 加熱終了後（加熱中ランプ消灯）、冷却中ランプが点灯。

HEAT CYCLE　COOL CYCLE

- 冷却終了（冷却中ランプ消灯）

COOL CYCLE

- シール完了（圧着レバーが上がり、ノズルが前進します）

10 シール完了

以上で作業工程終了です。シールが確実に行われているか確認してください。

長時間作業を行わない時は、

1　電源ボタンを OFF
2　漏電ブレーカーを OFF
3　電源プラグをコンセントから抜く

の順に行って機械を停止させてください。

8-2　登録をしてみましょう

注！　作業No.の登録は、最大 10 パターンまで登録することができます。
10 パターン以上を登録しようとするとディスプレイ画面に「トウロク　デキル　サギョウNo.ガ　イッパイデス」と表示されます。登録済みの作業No.のいずれかを削除してからでないと登録することができません。

注！　登録する場合、作業No.は登録されている作業No.の末尾の次に自動的に登録されます。
例）作業No. 4 まで登録されている場合、自動的に作業No. 5 に登録されます。

「8-2　登録をしてみましょう」では、2 種類の登録例をあげて登録方法を説明しています。
登録方法をご理解の上、登録例以外の登録も行ってください。

8-2-1　シール専用の登録方法

=作業No.「05」　シールセンヨウ
登録内容 : 加熱温度 =140℃、加熱時間 =0.3 秒、冷却温度 =100℃

8-2-2　タイマーによる 1 回脱気、ガス充填の登録方法

=作業No.「06」　1 カイガスタイマー
登録内容 : 加熱温度 =140℃、加熱時間 =0.3 秒、冷却温度 =100℃、
脱気タイマー =12.0 秒、ガスタイマー =8.0 秒

8-2-1　シール専用の登録方法

MEMO　以下の設定は、製品開梱後、何も設定変更を加えていない状態での説明です。
作業No.「05」　にシール専用を登録
登録内容の数値：加熱温度 =140℃　加熱時間 =0.3 秒　冷却温度 =100℃

1 漏電ブレーカーを ON にする

2 電源スイッチを ON にする

3 ディスプレイ画面に作業No.「01」が表示されます

```
[01]　シールセンヨウ
 ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
 ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
 COUNTER　　xxxxx
```

4 MENUボタンを押す

```
メニュー ◀▶センタク MENUモト゛ル
1 トウロク　　2 ヘンコウ
3 サクシ゛ョ　　4 キョリ
5 メンテナンス
```

5 ◀、▶ボタンで「1 トウロク」を選ぶ

```
メニュー ENTケッテイMENUモト゛ル
1 トウロク　　2 ヘンコウ
3 サクシ゛ョ　　4 キョリ
5 メンテナンス
```

～部分は点滅しています

6 ENTERボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[05]シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 ダ゛ッキシール
3 1カイガ゛ス　4 nカイガ゛ス
5 シ゛ュンカン
```

7 ◀、▶ボタンでシール方式「1 シールセンヨウ」を選ぶ

```
[05]シールホウシキ ENTカクテイ
1 シールセンヨウ 2 ダ゛ッキシール
3 1カイガ゛ス　4 nカイガ゛ス
5 シ゛ュンカン
```

～部分は点滅しています

8 ENTERボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[05]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ

HT 60°C 0.0s CT 40°C
```

9 加熱温度を 140℃に設定する
『8-4-5　加熱温度の設定』を参照してください。

10 ▶ボタンを押し、加熱時間を 0.3 秒に設定する
『8-4-6　加熱時間の設定』を参照してください。

11 ▶ボタンを押し、冷却温度を 100℃に設定する
『8-4-7　冷却温度の設定』を参照してください。

8-2-2　タイマーによる 1 回脱気、ガス充填の登録方法

MEMO 以下の設定は、製品開梱後、何も設定変更を加えていない状態での説明です。
作業№.「06」　に 1 回ガス、脱気タイマーを登録
登録内容の数値：加熱温度 =140℃　加熱時間 =0.3 秒　冷却温度 =100℃
脱気タイマー =12.0 秒、ガスタイマー =8.0 秒

1 漏電ブレーカーを ON にする

2 電源スイッチを ON にする

3 ディスプレイ画面に作業№.「01」が表示されます

```
[01]　シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER　　xxxxx
```

4 MENU ボタンを押す

```
メニュー ◀▶センタク MENUモト゛ル
1 トウロク　　2 ヘンコウ
3 サクシ゛ョ　　4 キョリ
5 メンテナンス
```

5 ◀、▶ボタンで「1 トウロク」を選ぶ

```
メニュー ENTケッテイMENUモト゛ル
1 トウロク　　2 ヘンコウ
3 サクシ゛ョ　　4 キョリ
5 メンテナンス
```

～部分は点滅しています

6 ENTER ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[06]シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 タ゛ッキシール
3 1カイカ゛ス　 4 nカイカ゛ス
5 シ゛ュンカン
```

7 ◀、▶ボタンでシール方式「3　1 カイガス」を選ぶ

```
[06]シールホウシキ ENTカクテイ
1 シールセンヨウ 2 タ゛ッキシール
3 1カイカ゛ス　 4 nカイカ゛ス
5 シ゛ュンカン
```

～部分は点滅しています

8 ENTER ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[06]タ゛ッキホウシキ◀▶ センタク
1カイカ゛ス

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

9 ◀、▶ボタンで脱気方式「2　タイマー」を選ぶ

```
[06]タ゛ッキホウシキENTカクテイ
1カイカ゛ス

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

～部分は点滅しています

10 ENTER ボタンを押すと、次の画面に変わります

```
[06]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ
 1VT10.0sec G10.0sec

HT 60°C 0.0s CT 40°C
```

～部分は点滅しています

11 脱気タイマーを 12.0 秒に設定する
『8-4-10　タイマー脱気の設定』を参照してください。

12 ▶ボタンを押し、ガス充填タイマーを 8.0 秒に設定する
『8-4-12　1 回ガス充填の設定』を参照してください。

13 ▶ボタンを押し、加熱温度を 140℃に設定する
『8-4-6　加熱時間の設定』を参照してください。

14 ▶ボタンを押し、加熱時間を 0.3 秒に設定する
『8-4-6　加熱時間の設定』を参照してください。

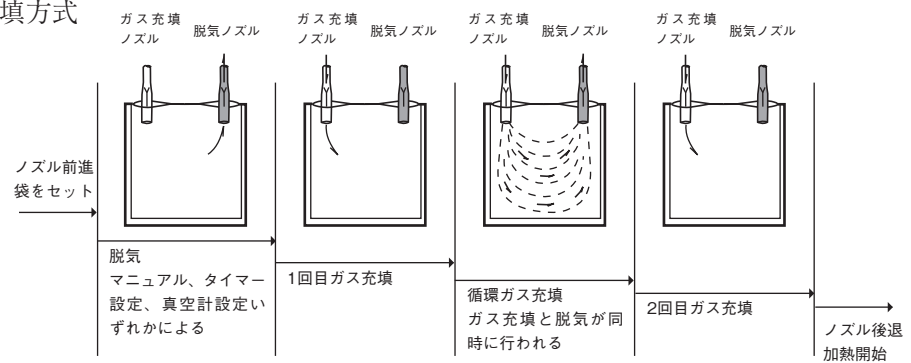
15 ▶ボタンを押し、冷却温度を 100℃に設定する
『8-4-7　冷却温度の設定』を参照してください。

8-3　用語解説

「8-3　用語解説」では、V-460G/610G シリーズのディスプレイ画面表示やこの取扱説明書の中で出てくる「弊社製品特有の“表現”“単語”」などを解説します。
その他、富士インパルスシーラー基礎知識的な用語も収録しています。

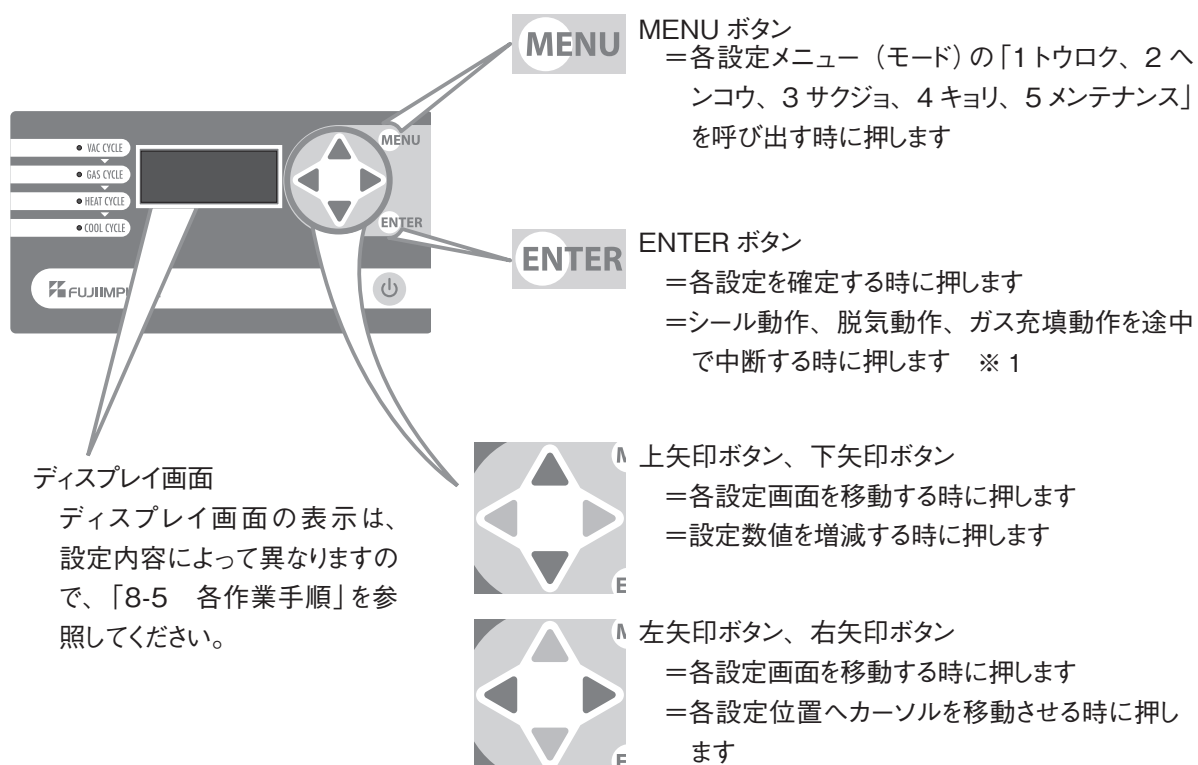
インパルスシーラー インパルス方式	シールする技術は、使用する目的や用途に応じて 4 つの方式に分かれます。プラスチックフィルム包材（袋ですね）の開口部または、開放部を封緘するマシンをシーラーと総称します。そのシールの接着手段に熱を利用しているものをヒートシーラーと言います。 一般的に使用されるヒートシール技術は 1.　インパルスシーラー、 2.　熱板シーラー 3.　超音波シーラー、 4.　高周波シーラー があります。 富士インパルスは、その中のインパルスシーラーを製造しています。 インパルスシーラーは、 熱接着刃型の表面に熱源として装備されたリボン状ヒーターに瞬間的に大電流を流して熱接着可能な状態にまで発熱させ、熱伝導により熱接着対象物を熱接着するもの。 接着しようとする封緘部を熱接着刃型の間に入れ、熱接着刃型で加圧し、リボン状ヒーターで瞬間的※に通電し、加熱し、熱伝導により封緘部を熱融着させる。通電完了後も加圧状態のまま冷却工程を必要とする。 （株式会社日報：包装タイムス掲載文章を参照しました。） ※瞬間的=インパルス（IMPULSE：衝撃、推進力、瞬間力、衝動 / 研究社新英和中辞典より）
シール方式 （ディスプレイ画面に表示される表現）	V-460G/610G シリーズのディスプレイ画面に現れる「シール方式」の意味は、どのような付加作業を行った上でシールする方法を選ぶか?を設定する際に、「シール方式の選択」と表現しています。 シール方式の広義の意味は「インパルス式」「超音波式」「高周波式」などになりますが、V-460G/610G シリーズのディスプレイ画面の文字数制限による表現力不足とご理解・ご了承ください。
シール シールする	一般的に " シール " と耳にされたら「表面に絵や文字を印刷した糊付きの紙状のもの」を頭に浮べられる方が多いのではないかと思います。 この " シール " の通称で呼んでいるものは「ラベル（label）」の方が正しい呼び方となるかもしれません。 私たちが造る機械の「" シール " する」は、これとは異なります。 ちょっと難しいですが、プラスチックフィルム包材（袋ですね）の開口部または、開放部を封緘（ふうかん）する事を " シール " と言います。また、そのシールを行う機械をシーラー、シール機と総称します。

シール専用	シールだけを行います。この設定にすると脱気及びガス充填機能は稼働しません。
マニュアル脱気	適切な脱気度合いを目視で判断し、エアペダルを踏む操作で脱気を終了させる脱気方法です。
タイマー脱気	脱気する時間の設定を行い、設定時間まで脱気を行います。
真空計脱気	真空度の設定を行い、設定した真空度まで脱気を行います。
n 回（ガス充填） n 回（脱気）	V-460G/610G シリーズは最多 99 回の繰り返しガス充填設定ができます。本製品では 1 ～ 99 回の内、ユーザー様が選択される任意の回数を表現するのに「n」という表現を使用しています。

循環式脱気ガス充填方式

レバー上部位置	レバーが開いている状態。
スポンジ位置	ノズルをスポンジで挟み込んでいる状態。
レバー下部位置	レバーが閉じている状態。
温度センサー	シール部の温度を直接検出します。

8-4　各操作・各設定リファレンス

コントロールユニットの各ボタン解説

コントロールユニットのでの各設定はそのほとんどを
MENUボタン　ENTERボタン　▲ボタン　▼ボタン　▶ボタン　◀ボタン
で行います。

MENU ボタン
＝各設定メニュー（モード）の「1 トウロク、2 ヘンコウ、3 サクジョ、4 キョリ、5 メンテナンス」を呼び出す時に押します

ENTER ボタン
＝各設定を確定する時に押します
＝シール動作、脱気動作、ガス充填動作を途中で中断する時に押します　※ 1

ディスプレイ画面
ディスプレイ画面の表示は、設定内容によって異なりますので、「8-5　各作業手順」を参照してください。

上矢印ボタン、下矢印ボタン
＝各設定画面を移動する時に押します
＝設定数値を増減する時に押します

左矢印ボタン、右矢印ボタン
＝各設定画面を移動する時に押します
＝各設定位置へカーソルを移動させる時に押します

※ 1
⚠ 警告　スポンジ位置にて作業を中断した場合、保持を解除するためレバーが下部位置まで下降します。
異物（指など）の挟み込みなどに充分注意してください。
（用語に関しては「8-3 用語解説」を参照してください。）

以下のリファレンスをご利用される前にお読みください

1　以下の設定は、全て漏電ブレーカーが ON 状態、電源スイッチが ON 状態に設定してあることを前提にして説明しています。
2　ディスプレイ画面イラストでは任意の設定で変化する数値部分を「xx」で表示しています。
3　カーソルを合わせた時に点滅している部分の下側に「〜」、背景に「■」を付けて表示しています。
4　ディスプレイ画面イラストでは選択している作業№によって内容が異なりますので「●」で表示しています。

8-4-1　カウンター

リセットの方法は、下記の初期画面が表示されている状態でENTERボタンを 3 秒間押してください。

```
[01] シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER      xxxxx
```

カウンター値を 1 つ下げたい場合は、ENTERボタンを押してください。

8-4-2　作業№の選択

作業№が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01] シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER      xxxxx
```

▼ボタンを押すと「1 つ前の登録された作業№の画面」に、▲ボタンを押すと「1 つ後の登録された作業№の画面」に切り替わります。

8-4-3　シール方式の選択・登録・変更

1　作業№が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01] シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER      xxxxx
```

MENUボタンを押すと次イラストの画面に変わります。

```
メニュー ◀▶センタク MENUモト゛ル
1 トウロク     2 ヘンコウ
3 サクシ゛ョ    4 キョリ
5 メンテナンス
```

2　■ 登録の場合：
>> ◀、▶ボタンで「1　トウロク」の位置にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。
次の操作は 3 へ続きます。
■（登録内容の）変更の場合：
>> ◀、▶ボタンで「2　ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせます。ENTERボタンを押して確定すると変更したい作業№を選択する画面が表示されますので▲、▼ボタンで変更したい作業№の画面へ移動し、ENTERボタンを押して確定してください。

3　次イラストの画面に変わります。

```
[0x]シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 タ゛ッキシール
3 1カイカ゛ス   4 nカイカ゛ス
5 シ゛ュンカン
```

4　◀、▶ボタンで「1　シールセンヨウ」「2　ダッキシール」「3　1 カイガス」「4　n カイガス」「5　ジュンカン」から選択したいシール方式（作業方式）にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定すると加熱温度・時間、冷却温度設定画面に変わりますので必要に応じて各設定を行ってください。

8-4-4 作業№の削除

MEMO 作業№の削除中、4 の ENTER ボタンを押す前であれば、MENU ボタンを押すと、削除を中止することができます。

1 作業№が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01] シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER     xxxxx
```

MENU ボタンを押すと次イラストの画面に変わります。

```
メニュー ◀▶センタク MENUモト゛ル
1 トウロク      2 ヘンコウ
3 サクシ゛ョ     4 キョリ
5 メンテナンス
```

2 ◀、▶ボタンで「3　サクジョ」の位置にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押して確定してください。次イラストの画面に変わります。

```
[0x] ●●●●●●●●●●●●
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoセンタク
  ENT ショウキョ
```

3 この画面で削除する作業№.を▲、▼ボタンで選択します。

4 削除したい作業№.が表示されたら、ENTER ボタンを押すと削除されます。

MEMO 削除したデータは元に戻すことができませんので、削除するときはよく確認をしてから行ってください。

MEMO 登録を削除すると、削除した作業№の次の作業№が自動的に一つ前のナンバーに書き変わります。

例）

削除前の登録内容

作業№.1= シール専用
作業№.2= 脱気シール タイマー
作業№.3=1 回ガス マニュアル

「作業№.1 シール専用」を削除すると、

作業№.1= 脱気シール タイマー
作業№.2=1 回ガス マニュアル
作業№.3= 未登録

に変わります。

MEMO 登録してある作業№が 01 のみの場合、作業№. 01 を削除しようとすると画面に「スベテ　サクジョ　デキマセン」と表示されます。

8-4-5 加熱温度の設定

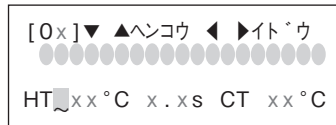
1 ■ 表示されている作業№に対して設定を行いたい場合

>> ▶ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の説明へ進んでください。

■ 現在表示されている作業№以外の作業№に対して設定を行いたい場合

>> 『8-4-2　作業№の選択』を参照して、設定を行いたい作業№を選択してください。選択ができたら▶ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

2　▶ボタンを押して、「HT xx ℃」の加熱温度の位置へカーソルを移動させてください。
加熱温度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを一回押すと1℃増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：60 ～ 250℃）

[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ
HT xx°C x.xs CT xx°C

～部分は点滅しています

MEMO　設定温度は、使用される包装フィルム（袋）の材質により適切な溶融温度は異なります。シールができる最低の温度に設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えることが出来ます。

8-4-6　加熱時間の設定

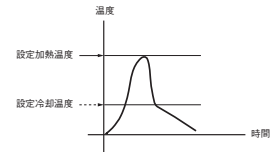
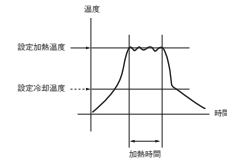
1　■ 表示されている作業No.に対して設定を行いたい場合
>> ▶ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の説明へ進んでください。
■ 現在表示されている作業No.以外の作業No.に対して設定を行いたい場合：
>>『8-4-2　作業No.の選択』を参照して、設定を行いたい作業No.を選択してください。選択ができたら▶ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

2　▶ボタンを押して、「x.x s」の加熱時間設定の位置へカーソルを移動させてください。
加熱時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.0 ～ 2.0 秒）

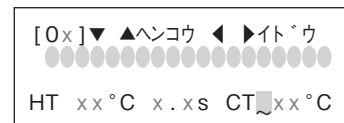
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ
HT xx°C x.xs CT xx°C

～部分は点滅しています

MEMO　温度制御における加熱時間とは設定された温度を維持させる時間のことです。通常は、加熱時間を設定しなくても（加熱時間を 0.0 秒にしても）シールはできます。包装フィルム（袋）に厚みがあり、加熱温度を上げてもシールができない場合やシールができてもフィルムがダメージを受けている場合のみ加熱時間を設定すると効果が期待できます。

加熱時間を設定しない場合の加熱温度測定グラフの軌跡

加熱時間を設定した場合の加熱温度測定グラフの軌跡

8-4-7　冷却温度の設定

1　■ 現在表示されている作業No.に対して設定を行いたい場合：
>> ▶ボタンを押すと設定項目変更画面に変わりますので、2 の説明へ進んでください。
■ 現在表示されている作業No.以外の作業No.に対して設定を行いたい場合：
>>『8-4-2　作業No.の選択』を参照して、設定を行いたい作業No.選択してください。選択ができたら▶ボタンを押して 2 の解説へ進んでください。

2　▶ボタンを押して、「CT xx ℃」の冷却温度の位置へカーソルを移動させてください。
冷却温度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 1℃増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：40℃～加熱温度設定値）

～部分は点滅しています

注 ！ 設定温度を極端に高く設定すると、美しく丈夫なシールができませんのでフィルムに合った温度設定にしてください。

⚠警告 極端な設定にしようとすると、下記の警告が画面に4秒間表示されます。

```
WARNING!!
レイキャク オントﾞ ハ
ジﾞュウブﾞンニ サケﾞテ
シヨウ シテ クタﾞサイ
```

8-4-8 脱気方式の選択

1 作業№が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01] シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキﾞョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER     xxxxx
```

MENUボタンを押すと次イラストの画面に変わります。

```
メニュー ◀▶センタク MENUモドﾞル
1 トウロク     2 ヘンコウ
3 サクジﾞョ    4 キョリ
5 メンテナンス
```

2 ■ 登録の場合：
>> ◀、▶ボタンで「1 トウロク」の位置にカーソルを合わせます。
次の操作は3へ続きます。
■（登録内容の）変更の場合：
>> ◀、▶ボタンで「2 ヘンコウ」の位置にカーソルを合わせます。ENTERボタンを押して確定すると変更したい作業№を選択する次の画面が表示されますので、▼ボタンで選択したい作業№の画面へ移動し、ENTERボタンを押して確定してください。

3 ENTERボタンを押して確定すると次イラストの画面に変わります。

```
[0x]シールホウシキ ◀▶ センタク
1 シールセンヨウ 2 タﾞッキシール
3 1カイカﾞス   4 nカイカﾞス
5 ジﾞュンカン
```

4 ◀、▶ボタンで「2 ダッキシール」にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定すると次イラストの画面に変わります。

```
[0x]タﾞッキホウシキ◀▶ センタク
タﾞッキシール

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

◀、▶ボタンで「1 マニュアル」「2 タイマー」「3 シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストの画面に変わりますので、必要に応じて各設定を行ってください。

```
[0x]タﾞッキホウシキENTカクテイ
タﾞッキシール

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

～部分は点滅しています

8-4-9 マニュアル脱気の選択

「8-4-8 脱気方式の選択」を参照して、「1 マニュアル」にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次のイラストの画面に変わりますので、必要に応じて各設定を行ってください。

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドﾞウ
 1V MANUAL

HT xx°C x.xs CT xx°C
```

8-4-10　タイマー脱気の設定

1　「8-4-8　脱気方式の選択」を参照して、「2　タイマー」にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストの画面に変わりますので、必要に応じて各設定を行ってください。

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VTxx.xsec

HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

2　脱気時間を設定します。
「1VT xx.x sec」の脱気時間設定の位置にカーソルがあることを確認して、
脱気タイマーの数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを1回押すと0.1秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9秒）

n回タイマー脱気の設定はn回ガス充填を選択した場合のみ設定可能です。設定方法は『8-4-15　n回ガス充填のガス充填時間の設定』を参照してください。

8-4-11　真空計脱気の設定

1　「8-4-8　脱気方式の選択」を参照して、「3　シンクウケイ」にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストの画面に変わりますので、必要に応じて各設定を行ってください。

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VG-xxxkPa

HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

2　「1VG－ xxx kPa」の真空度設定の位置にカーソルがあることを確認して、
真空度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを1回押すと－1kPa増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：－1 ～－100kPa）

8-4-12　1回ガス充填の選択

1　「8-4-3　シール方式の選択・登録・変更」を参照して、「3　1カイガス」にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストの画面に変わります。

```
[0x]ダッキホウシキ◀▶ センタク
1カイガス

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

2　◀、▶ボタンで「1　マニュアル」「2　タイマー」「3　シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。

```
[0x]ダッキホウシキENTカクテイ
1カイガス

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

～部分は点滅しています

8-4-13　1回ガス充填のガス充填時間の設定

1　「8-4-12　1回ガス充填の選択」を参照して、「1　マニュアル」「2　タイマー」「3　シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストのメニュー画面に変わりますので、必要に応じて加熱温度・時間、冷却温度の各設定を行ってください。

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 ●●●●●●●●●● Gxx.xsec

HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

2　ガス充填時間を設定します。
▶ボタンを押して、「G xx.x sec」のガス充填時間設定の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを1回押すと0.1秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9秒）

8-4-14　n 回ガス充填の設定

1　「8-4-3　シール方式の選択・登録・変更」を参照して、「4　nカイガス」にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストの画面に変わります。

```
[0x]ダッキホウシキ◀▶　センタク
nカイガス

1マニュアル　2タイマー　3シンクウケイ
```

2　◀、▶ボタンで「1　マニュアル」「2　タイマー」「3　シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。

```
[0x]ダッキホウシキENTカクテイ
nカイガス

1マニュアル　2タイマー　3シンクウケイ
```

～部分は点滅しています

8-4-15　n 回ガス充填の脱気・ガス充填時間の設定

1　「8-4-14 n 回ガス充填の選択」を参照して、「1　マニュアル」「2　タイマー」「3　シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストのメニュー画面に変わりますので、必要に応じて加熱温度・時間、冷却温度の各設定を行ってください。

2　■「マニュアル脱気」を選択した場合

・「1 回」～「n マイナス 1 回」のガス充填時間を設定します。

「G xx.x sec」のガス充填時間設定の位置にカーソルを合わせてください。

ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。

▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。押し続けると高速で増減します。

（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1V MANUAL   Gxx.xsec
xxV MANUAL   Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・脱気・ガス充填回数を設定します。

「xx V」の脱気・ガス充填回数設定の位置にカーソルを合わせてください。

脱気・ガス充填回数の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。

▲、▼ボタンを 1 回押すと 1 回増減します。押し続けると高速で増減します。

（設定範囲：2 ～ 99 回）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1V MANUAL   Gxx.xsec
xxV MANUAL   Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・n 回目のガス充填時間を設定します。

「G xx.x sec」の n 回目ガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。

ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。

▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。押し続けると高速で増減します。

（設定範囲：0.0 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1V MANUAL   Gxx.xsec
xxV MANUAL   Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

■「タイマー脱気」を選択した場合

・「1 回」～「n マイナス 1 回」の脱気時間を設定します。

「1VT xx.x sec」の脱気時間設定の位置にカーソルを合わせてください。

脱気時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。

▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。押し続けると高速で増減します。

（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・「1 回」～「n マイナス 1 回」のガス充填時間を設定します。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ﾍﾝｺｳ ◀ ▶ｲﾄﾞｳ
 1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・脱気・ガス充填回数を設定します。
「xx VT」の脱気・ガス充填回数設定の位置にカーソルを合わせてください。
脱気・ガス充填回数の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 1 回増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：2 ～ 99 回）

```
[0x]▼ ▲ﾍﾝｺｳ ◀ ▶ｲﾄﾞｳ
 1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・n回目の脱気時間を設定します。
「xx VT xx.x sec」の脱気時間設定の位置にカーソルを合わせてください。
脱気時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ﾍﾝｺｳ ◀ ▶ｲﾄﾞｳ
 1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・n 回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」の n 回目ガス充填時間設定の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.0 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ﾍﾝｺｳ ◀ ▶ｲﾄﾞｳ
 1VTxx.xsec Gxx.xsec
xxVTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

■「真空計脱気」を選択した場合

・「1 回」～「n マイナス 1 回」の真空度を設定します。
「1VG －xxx kPa」の真空度設定の位置にカーソルを合わせます。
真空度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと－ 1kPa 増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：－ 1 ～－ 100kPa）

```
[0x]▼ ▲ﾍﾝｺｳ ◀ ▶ｲﾄﾞｳ
 1VG-xxxkPa Gxx.xsec
xxVG-xxxkPa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・「1 回」～「n マイナス 1 回」のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」のガス充填時間設定の位置にカーソルを合わせます。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ﾍﾝｺｳ ◀ ▶ｲﾄﾞｳ
 1VG-xxxkPa Gxx.xsec
xxVG-xxxkPa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・脱気・ガス充填回数を設定します。
「xx VG」の脱気・ガス充填回数設定の位置にカーソルを合わせてください。
脱気・ガス充填回数の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 1 回増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：2 ～ 99 回）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ
 1VG-xxxkPa Gxx.xsec
xxVG-xxxkPa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・n 回目の真空度を設定します。
「xx VG － xxx kPa」の真空度設定の位置にカーソルを合わせます。
真空度の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと－ 1kPa 増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：－ 1 ～－ 100kPa）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ
 1VG-xxxkPa Gxx.xsec
xxVG-xxxkPa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・n 回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」の n 回目ガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.0 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ
 1VG-xxxkPa Gxx.xsec
xxVG-xxxkPa Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

8-4-16　循環ガス充填の選択

1　「8-4-3　シール方式の選択・登録・変更」を参照して、「5　ジュンカン」にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストの画面に変わります。

```
[0x]ダ゛ッキホウシキ◀▶ センタク
シ゛ュンカン

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

2　◀、▶ボタンで「1　マニュアル」「2　タイマー」「3　シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。

```
[0x]ダ゛ッキホウシキENTカクテイ
シ゛ュンカン

1マニュアル 2タイマー 3シンクウケイ
```

～部分は点滅しています

8-4-17　循環ガス充填のガス充填時間の設定

1　「8-4-16　循環ガス充填の選択」を参照して、「1　マニュアル」「2　タイマー」「3　シンクウケイ」から選択したい脱気方式にカーソルを合わせ、ENTERボタンを押して確定してください。確定すると次イラストの画面に変わりますので、必要に応じて加熱温度・時間、冷却温度の各設定を行ってください。

2　■「マニュアル脱気」を選択した場合
・1 回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」のガス充填時間設定の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イト゛ウ
 1V MANUAL  Gxx.xsec
 GCTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・循環ガス充填時間を設定します。
「GCT xx.x sec」の循環ガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。
循環ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

～部分は点滅しています

・2 回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」のガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1V MANUAL   Gxx.xsec
 GCTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

■「タイマー脱気」を選択した場合
・脱気時間を設定します。
「1VT xx.x sec」の脱気時間設定の位置にカーソルを合わせてください。
脱気時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VTxx.xsec Gxx.xsec
 GCTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・1 回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」のガス充填時間設定の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

～部分は点滅しています

・循環ガス充填時間を設定します。
「GCT xx.x sec」の循環ガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。
循環ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

～部分は点滅しています

・　2 回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」の循環ガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを 1 回押すと 0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0 ～ 99.9 秒）

～部分は点滅しています

■「真空計脱気」を選択した場合

・真空度を設定します。
「1VG －xxx kPa」の真空度設定の位置にカーソルを合わせてください。
真空タイマーの数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを1回押すと－ 1kPa 増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：－1 ～－ 100kPa）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VG−xxxkPa Gxx.xsec
 GCTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・1回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」のガス充填時間設定の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを1回押すと0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VG−xxxkPa Gxx.xsec
 GCTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・循環ガス充填時間を設定します。
「GCT xx.x sec」の循環ガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを1回押すと0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0.1 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VG−xxxkPa Gxx.xsec
 GCTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

・ 2回目のガス充填時間を設定します。
「G xx.x sec」の循環ガス充填時間の位置にカーソルを合わせてください。
ガス充填時間の数値を上げる場合▲ボタン、数値を下げる場合▼ボタンを押してください。
▲、▼ボタンを1回押すと0.1 秒増減します。
押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：0 ～ 99.9 秒）

```
[0x]▼ ▲ヘンコウ ◀ ▶イドウ
 1VG−xxxkPa Gxx.xsec
 GCTxx.xsec Gxx.xsec
HT xx°C x.xs CT xx°C
```

～部分は点滅しています

8-4-18 ノズル前進距離の設定

1 作業№が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

```
[01] シールセンヨウ
  ▼ ▲ サキ゛ョウNoヘンコウ
  ◀ ▶ セッテイコウモクヘンコウ
  COUNTER     xxxxx
```

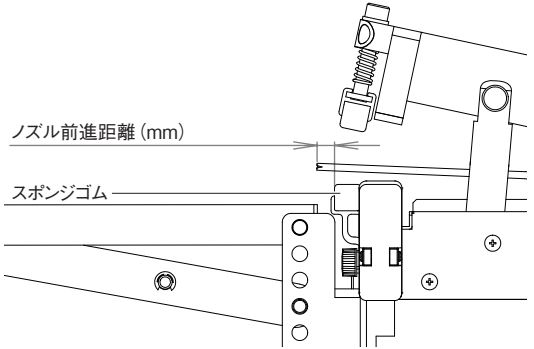
MENUボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

```
メニュー ◀▶センタク MENUモト゛ル
1 トウロク      2 ヘンコウ
3 サクシ゛ョ     4 キョリ
5 メンテナンス
```

2 ◀、▶ボタンで「4 キョリ」の位置にカーソルを合わせてください。
ENTERボタンを押して確定すると次イラストの画面に変わります。

```
セ゛ンシンキョリセッテイモート゛
   ▲ ▼キーテ゛ セッテイ
   ENTキーテ゛ ケッテイ
セッテイキョリ = 01
```

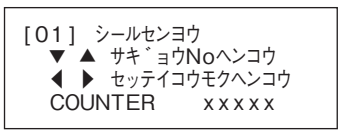
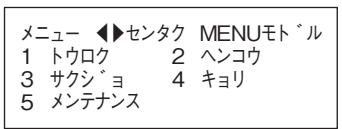
～部分は点滅しています

3　▲、▼ボタンを押して、設定したい値を選択し、ENTERボタンで確定してください。
（下記表を参考にしてください。）
▲、▼ボタンを1回押すと1増減します。押し続けると高速で増減します。
（設定範囲：1～8）

ノズル前進距離は、スポンジゴムからの距離となります。

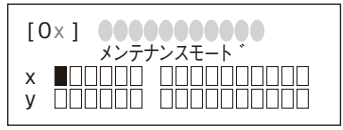
設定距離	ノズル前進距離
01	10mm
02	20mm
03	30mm
04	40mm
05	50mm
06	60mm
07	70mm
08	80mm

8-4-19　メンテナンスモード

1　作業№が表示されている状態の画面の時に（下記イラストでは「01」シールセンヨウ）

[01]　シールセンヨウ
▼ ▲　サキ゛ョウNoヘンコウ
◀ ▶　セッテイコウモクヘンコウ
COUNTER　　xxxxx

MENUボタンを押すと次イラストのメニュー画面に変わります。

2　◀、▶ボタンで「5　メンテナンス」の位置にカーソルを合わせてください。
ENTERボタンを押して確定すると次イラストの画面に変わります。

～部分は点滅しています

3　▶ボタンで「2　ON」の位置にカーソルを合わせて、ENTERボタンを押して確定してください。
確定すると次イラストの画面に変わります。

■部分は ON 、□部分は OFF を表しています

上記のメンテナンスモードの画面につきましては、「14-4　トラブル発生時はメンテナンスモードを活用してください」を参照してください。

8-5　各作業手順

13 種類ある作業方法の組み合わせ別の作業の流れを解説します。
コントローラーの設定を行ったあとは、作業手順を読んでいただくことで、使い方のおおよその流れを確認していただくことができると思います。

8-5-1　《シール専用》作業手順

設定画面の表示内容

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
2	電源ボタンを ON	7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
3	3-a　登録してある場合「シールセンヨウ」の作業No.を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業No.の選択 3-b の場合 8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更
4	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定
5	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定
6	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定
7	シール面に袋をセット	シール位置を確かめながら、袋の両端を整えてください。

8	エアペダルを踏む	(「シール専用」作業手順のつづき) 1　圧着レバーがシール面に密着（シール開始)。 2　加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 3　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 4　冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 5　シール完了（圧着レバーが上がります)
9	シール完了	**7-11　シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-2 《マニュアル（目安）脱気＋シール》作業手順

設定画面の表示内容

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2	電源ボタンを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3	3-a　登録してある場合「ダッキシール　マニュアル」の作業No.を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業No.の選択** 3-b の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更**
4	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定**
5	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定**
6	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定**
7	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
8	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
9	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。

10	エアペダル（3 回目）を踏む	(「マニュアル（目安）脱気＋シール」作業手順のつづき) 脱気が開始され、脱気中ランプが点灯します。 VAC CYCLE
11	適切な脱気状態（目測判断）になればエアペダル（4 回目）を踏む	4 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 6 の工程が自動的に行われます。 1　脱気終了　脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 2　ノズル後退 3　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 4　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 5　冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 6　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12	シール完了	**7-11　シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-3 《タイマー脱気 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**7-8 漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2	電源ボタンを ON	**7-8 漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3	3-a 登録してある場合「ダッキシール タイマー」の作業No.を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 作業No.の選択** 3-b の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3 シール方式の選択・登録・変更**
4	タイマー脱気の設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-10 タイマー脱気の設定**
5	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5 加熱温度の設定**
6	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6 加熱時間の設定**
7	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7 冷却温度の設定**
8	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
9	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

<table>
<tr><td></td><td></td><td>（「タイマー脱気＋シール」作業手順のつづき）</td></tr>
<tr><td>10</td><td>エアペダル（2 回目）を踏む</td><td>圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください）
注 ！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>エアペダル（3 回目）を踏む</td><td>3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 7 の工程が自動的に行われます。

1　脱気開始　脱気中ランプ点灯
VAC CYCLE
2　脱気タイマーで設定してある脱気時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯
VAC CYCLE
3　ノズル後退
4　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。
加熱中ランプが点灯。
HEAT CYCLE
5　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。
HEAT CYCLE　COOL CYCLE
6　冷却終了　冷却中ランプ消灯
COOL CYCLE
7　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）</td></tr>
<tr><td>12</td><td>シール完了</td><td>7-11　シールのできあがり

長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。</td></tr>
</table>

8-5-4 《真空計脱気 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2	電源ボタンを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3	3-a　登録してある場合「ダッキシール　シンクウケイ」の作業No.を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業No.の選択** 3-b の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更**
4	真空度の設定（設定範囲 −1 〜 −100kPa）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-11　真空計脱気の設定**
5	加熱温度設定（設定範囲 60 〜 250℃）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定**
6	加熱時間設定（設定範囲 0.0 〜 2.0 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定**
7	冷却温度設定（設定範囲 40℃〜加熱温度設定値）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定**
8	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
9	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

10	エアペダル（2 回目）を踏む	（「真空計脱気＋シール」作業手順のつづき） 圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
11	エアペダル（3 回目）を踏む	3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 7 の工程が自動的に行われます。 1　脱気開始　脱気中ランプ点灯 VAC CYCLE 2　設定した真空度に到達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 3　ノズル後退 4　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。 　加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 5　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 6　冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 7　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
12	シール完了	7-11　シールのできあがり 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-5 《1 回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**7-8 漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2	電源ボタンを ON	**7-8 漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3	3-a 登録してある場合「1 カイガス マニュアル」の作業No.を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 作業No.の選択** 3-b の場合 **8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3 シール方式の選択・登録・変更**
4	ガス充填時間の設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-13 1 回ガス充填のガス充填時間の設定**
5	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5 加熱温度の設定**
6	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6 加熱時間の設定**
7	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7 冷却温度の設定**
8	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
9	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

		（「（1 回）マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき）
10	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！ 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
11	エアペダル（3 回目）を踏む	脱気開始　脱気中ランプ点灯 VAC CYCLE
12	適切な脱気状態（目測判断）になればエアペダル（4 回目）を踏む	4 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 8 の工程が自動的に行われます。 1　脱気終了。脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 2　ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯 GAS CYCLE 3　ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 GAS CYCLE 4　ノズル後退 5　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 6　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 6　冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 7　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
13	シール完了	7-11　シールのできあがり 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-6 《1 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

	手　　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	7-8 漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
2	電源ボタンを ON	7-8 漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
3	3-a 登録してある場合「1 カイガス タイマー」の作業No.を選択 3-b 登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2 作業No.の選択 3-b の場合 8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3 シール方式の選択・登録・変更
4	タイマー脱気の設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-10 タイマー脱気の設定
5	ガス充填時間の設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-13 1 回ガス充填のガス充填時間の設定
6	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5 加熱温度の設定
7	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6 加熱時間の設定
8	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	8-4 各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7 冷却温度の設定
9	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
10	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

		（「（1 回）タイマー脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき）
11	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！　圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
12	エアペダル（3 回目）を踏む	3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 9 の工程が自動的に行われます。 1　脱気開始。脱気中ランプ点灯 VAC CYCLE 2　脱気タイマーで設定した時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 3　ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯 GAS CYCLE 4　ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 GAS CYCLE 5　ノズル後退 6　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 7　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 8　冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 9　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
13	シール完了	**7-11　シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-7 《1 回真空計脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2	電源ボタンを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3	3-a　登録してある場合「1 カイガス　シンクウケイ」の作業No.を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業No.の選択** 3-b の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更**
4	真空度の設定（設定範囲 −1 ～ −100kPa）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-11　真空計脱気の設定**
5	ガス充填時間の設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-13　1 回ガス充填のガス充填時間の設定**
6	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定**
7	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定**
8	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定**
9	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
10	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

		(「(1 回）真空計脱気＋ガス充填＋シール」作業手順のつづき）
11	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！ 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
12	エアペダル（3 回目）を踏む	3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 9 の工程が自動的に行われます。 1 脱気開始。脱気中ランプ点灯 VAC CYCLE 脱気中真空度をレベルメーターで確認できます。 2 設定した真空度に到達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 3 ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯 GAS CYCLE 4 ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 GAS CYCLE 5 ノズル後退 6 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 7 加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 8 冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 9 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
13	シール完了	**7-11　シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-8 《n 回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容（n とは、脱気とガス充填を繰り返し行う任意の回数のことを表しています。）

手　　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1　漏電ブレーカーを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2　電源ボタンを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3　3-a　登録してある場合「xx ガス　マニュアル」の作業No.を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業No.の選択** 3-b の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更**
4　1 ～「n マイナス 1」回目までのガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-15　n 回ガス充填の脱気・ガス充填時間の設定**
5　脱気・ガス充填回数の設定（設定範囲 2 ～ 99 回）	
6　n 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.0 ～ 99.9 秒）	
7　加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定**
8　加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定**
9　冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定**
10　エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
11　シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。

		（「n 回マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき
12	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！ 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
13	エアペダル（3 回目）を踏む	脱気が開始され、脱気中ランプが点灯します。 VAC CYCLE
14	適切な脱気状態（目測判断）になればエアペダル（4 回目）を踏む	4 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 3 の工程が自動的に行われます。 1　脱気終了。脱気中ランプ消灯。1 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 VAC CYCLE　GAS CYCLE 2　1 ～「n マイナス 1 回目」ガス充填タイマーで設定してあるガス充填時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 GAS CYCLE 3　2 回目脱気開始。脱気中ランプが点灯。 VAC CYCLE
15	適切な脱気状態（目測判断）になればエアペダル（5 回目）を踏む	14 の 1 から 3 までの工程が「n マイナス 1 回」繰り返されます。
16	xx 回目のエアペダルを踏む操作を行い n 回目の脱気、ガス充填を行う。（xx の数値は n 回の設定値により異なる不特定数値であること表現しています）	xx 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 7 の工程が自動的に行われます。 1　n 回目の脱気が終了し、脱気中ランプが消灯し、n 回目のガス充填が開始されます。ガス充填ランプ点灯。 VAC CYCLE　GAS CYCLE 2　n 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると n 回目ガス充填終了。ガス充填中タイマー消灯。 GAS CYCLE 3　ノズル後退 4　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯 HEAT CYCLE 7　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 8　冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 9　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
17	シール完了	**7-11　シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-9 《n 回タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容（n とは、脱気とガス充填を繰り返し行う任意の回数のことを表しています。）

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2	電源ボタンを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3	3-a　登録してある場合「xx ガス　タイマー」の作業№を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業№の選択** 3-b の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更**
4	1 ～「n マイナス 1」回目までの脱気タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-15　n 回ガス充填の脱気・ガス充填時間の設定**
5	1 ～「n マイナス 1」回目までのガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	
6	脱気・ガス充填回数の設定（設定範囲 2 ～ 99 回）	
7	n 回目脱気タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	
8	n 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.0 ～ 99.9 秒）	
9	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定**
10	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定**
11	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定**

		(「n 回マニュアル脱気＋ガス充填＋シール」作業手順のつづき
12	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
13	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
14	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！ 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
15	エアペダル（3 回目）を踏む	3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 13 の工程が自動的に行われます。 1　1 回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。 VAC CYCLE 2　1 ～「n マイナス 1 回目」までの脱気タイマーで設定した時間が経過すると 1 回目脱気終了。脱気中ランプ消灯。 VAC CYCLE 3　1 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 4　1 ～「n マイナス 1 回目」までのガス充填タイマーで設定した時間が経過すると 1 回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 5　1 から 5 の工程が「n マイナス 1 回」繰り返されます。 6　n 回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。 VAC CYCLE 7　n 回目脱気タイマーで設定した時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯し、n 回目のガス充填が開始されます。ガス充填ランプ点灯。 VAC CYCLE　GAS CYCLE 8　n 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると n 回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 GAS CYCLE 9　ノズル後退 10　圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 11　加熱終了後　加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE　COOL CYCLE 12　冷却終了　冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 13　シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
16	シール完了	**7-11　シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-10 《n 回真空計脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容（n とは、脱気とガス充填を繰り返し行う任意の回数のことを表しています。）

<table>
<tr><th colspan="2">手　　順</th><th>各操作リファレンスでの項目名称
または、操作方法・設定方法解説</th></tr>
<tr><td>1</td><td>漏電ブレーカーを ON</td><td>7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする</td></tr>
<tr><td>2</td><td>電源ボタンを ON</td><td>7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3-a　登録してある場合「xx ガス　シンクウケイ」の作業№を選択

3-b　登録していない場合は登録をする</td><td>3-a の場合
8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業№の選択
3-b の場合
8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更</td></tr>
<tr><td>4</td><td>1 ～「n マイナス 1」回目までの真空度の設定（設定範囲 −1 ～ −100kPa）</td><td rowspan="5">8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-15　n 回ガス充填の脱気・ガス充填時間の設定</td></tr>
<tr><td>5</td><td>1 ～「n マイナス 1」回目までのガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）</td></tr>
<tr><td>6</td><td>脱気・ガス充填回数の設定（設定範囲 2 ～ 99 回）</td></tr>
<tr><td>7</td><td>n 回目真空度の設定（設定範囲 −1 ～ −100kPa）</td></tr>
<tr><td>8</td><td>n 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.0 ～ 99.9 秒）</td></tr>
<tr><td>9</td><td>加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）</td><td>8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定</td></tr>
<tr><td>10</td><td>加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）</td><td>8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定</td></tr>
<tr><td>11</td><td>冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）</td><td>8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定</td></tr>
</table>

		(「n 回真空計脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)
12	エアペダル(1 回目)を踏む	ノズルが前へ出てきます。
13	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
14	エアペダル(2 回目)を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。(圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください) 注 ! 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
15	エアペダル(3 回目)を踏む	3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 13 の工程が自動的に行われます。 1 1 回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。 VAC CYCLE 2 設定した 1 〜「n マイナス 1 回目」までの真空度に達すると 1 回目脱気終了。脱気中ランプ消灯。 VAC CYCLE 3 1 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 4 1 〜「n マイナス 1 回目」までのガス充填タイマーで設定した時間が経過すると 1 回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 5 1 から 5 の工程が「n マイナス 1 回」繰り返されます。 6 n 回目脱気開始。脱気中ランプ点灯。 VAC CYCLE 7 設定した真空度に到達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯し、n 回目のガス充填が開始されます。ガス充填ランプ点灯。 VAC CYCLE GAS CYCLE 8 n 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると n 回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯 GAS CYCLE 9 ノズル後退 10 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 11 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE COOL CYCLE 12 冷却終了 冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 13 シール完了(圧着レバーが上がりノズルが前進します)
16	シール完了	**7-11 シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-11 《循環マニュアル脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

手　　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1　漏電ブレーカーを ON	7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
2　電源ボタンを ON	7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
3　3-a　登録してある場合「ジュンカン　マニュアル」の作業No.を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業No.の選択 3-b の場合 8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更
4　1 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-17　循環ガス充填のガス充填時間の設定
5　循環ガス（充填）タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	
6　2 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.0 ～ 99.9 秒）	
7　加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定
8　加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定
9　冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定
10　エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。

		(「循環マニュアル脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき)
11	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
12	エアペダル(2 回目)を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。(圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください) 注 ! 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
13	エアペダル(3 回目)を踏む	脱気が開始され、脱気中ランプが点灯します。 VAC CYCLE
14	適切な脱気状態(目測判断)になればエアペダル(4 回目)を踏む	4 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 12 の工程が自動的に行われます。 1 脱気終了。脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 2 1 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 3 1 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 4 ガス循環開始。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ点灯。 VAC CYCLE GAS CYCLE 5 循環タイマーで設定した時間が経過するとガス循環終了。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ消灯。 VAC CYCLE GAS CYCLE 6 2 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 7 2 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると 2 回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 8 ノズル後退 9 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 10 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE COOL CYCLE 11 冷却終了 冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 12 シール完了(圧着レバーが上がりノズルが前進します)
15	シール完了	7-11 シールのできあがり 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-12 《循環タイマー脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

	手　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1	漏電ブレーカーを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
2	電源ボタンを ON	**7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする**
3	3-a　登録してある場合「ジュンカン タイマー」の作業No.を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業No.の選択** 3-b の場合 **8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更**
4	脱気タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-17　循環ガス充填のガス充填時間の設定**
5	1 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	
6	循環ガス（充填）タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	
7	2 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.0 ～ 99.9 秒）	
8	加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定**
9	加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定**
10	冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	**8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定**

		（「循環タイマー脱気 + ガス充填 + シール」作業手順のつづき）
11	エアペダル（1 回目）を踏む	ノズルが前へ出てきます。
12	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
13	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！ 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
14	エアペダル（3 回目）を踏む	3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 13 の工程が自動的に行われます。 1 脱気開始。脱気中ランプ点灯。 VAC CYCLE 2 脱気タイマーで設定した時間が経過すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 3 1 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 4 1 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 5 ガス循環開始。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ点灯。 VAC CYCLE GAS CYCLE 6 循環タイマーで設定した時間が経過するとガス循環終了。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ消灯。 VAC CYCLE GAS CYCLE 7 2 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 8 2 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると 2 回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 9 ノズル後退 10 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 11 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE COOL CYCLE 12 冷却終了 冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 13 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
15	シール完了	**7-11 シールのできあがり** 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

8-5-13 《循環真空計脱気 + ガス充填 + シール》作業手順

設定画面の表示内容

手　　順	各操作リファレンスでの項目名称 または、操作方法・設定方法解説
1　漏電ブレーカーを ON	7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
2　電源ボタンを ON	7-8　漏電ブレーカー、電源スイッチを ON にする
3　3-a　登録してある場合「ジュンカン シンクウケイ」の作業№を選択 3-b　登録していない場合は登録をする	3-a の場合 8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-2　作業№の選択 3-b の場合 8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-3　シール方式の選択・登録・変更
4　真空度の設定（設定範囲 −1 ～ −100kPa）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-17　循環ガス充填のガス充填時間の設定
5　1 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	
6　循環ガス（充填）タイマーの設定（設定範囲 0.1 ～ 99.9 秒）	
7　2 回目ガス充填タイマーの設定（設定範囲 0.0 ～ 99.9 秒）	
8　加熱温度設定（設定範囲 60 ～ 250℃）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-5　加熱温度の設定
9　加熱時間設定（設定範囲 0.0 ～ 2.0 秒）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-6　加熱時間の設定
10　冷却温度設定（設定範囲 40℃～加熱温度設定値）	8-4　各操作・各設定リファレンス >> 8-4-7　冷却温度の設定

11	エアペダル（1 回目）を踏む	（「循環真空計脱気＋ガス充填＋シール」作業手順のつづき） ノズルが前へ出てきます。
12	シール面に袋をセット	内容物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら、袋の両端を整えます。
13	エアペダル（2 回目）を踏む	圧着レバーが下降し、袋をスポンジで挟み込み密封します。（圧着レバーが閉じるまで踏み続けてください） 注 ！ 圧着レバーの下降途中で足をエアペダルから離すと安全機構が働いて、圧着レバーが開きます。
14	エアペダル（3 回目）を踏む	3 回目のエアペダルを踏む操作をすると 1 から 13 の工程が自動的に行われます。 1 脱気開始。脱気中ランプ点灯。 VAC CYCLE 2 設定した真空度に達すると脱気終了。脱気中ランプ消灯 VAC CYCLE 3 1 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 4 1 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過するとガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 5 ガス循環開始。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ点灯。 VAC CYCLE GAS CYCLE 6 循環タイマーで設定した時間が経過するとガス 循環終了。脱気中ランプ、ガス充填中ランプ消灯。 VAC CYCLE GAS CYCLE 7 2 回目ガス充填開始。ガス充填中ランプ点灯。 GAS CYCLE 8 2 回目ガス充填タイマーで設定した時間が経過すると 2 回目ガス充填終了。ガス充填中ランプ消灯。 GAS CYCLE 9 ノズル後退 10 圧着レバーがシール面に密着し、シール開始。加熱中ランプが点灯。 HEAT CYCLE 11 加熱終了後 加熱中ランプ消灯、冷却中ランプが点灯。 HEAT CYCLE COOL CYCLE 12 冷却終了 冷却中ランプ消灯 COOL CYCLE 13 シール完了（圧着レバーが上がりノズルが前進します）
15	シール完了	7-11 シールのできあがり 長時間作業を行わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。